

(様式2)

## 学校関係者評価報告書

愛媛県立みなら特別支援学校(本校・松山城北分校)

53

評価実施日		令和3年3月9日(火)	
委員	氏名	所属等	備考
	伊藤 剛志	社会福祉法人 馴鹿(となかい) トナカイ福祉交流館あい 施設長	学校評議員
	池川 良徳	東温市見奈良区長	学校評議員
	恒岡夕貴子	有限会社 松山サービス ジョブコーチ	学校評議員
	前園 俊恵	法蓮寺住職	学校評議員
	永井 裕二	社会福祉法人 松山手をつなぐ育成会 生活介護事業所 つくし園 管理者	学校評議員
	本山 有香	PTA会長	
	藤原佳代子	PTA会長(分校)	
	宮岡聖名子	PTA副会長(分校)	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>○教材・教具の活用について 県立学校生徒等一人1台端末事業について、授業等で充実した活動を行えるようにまずは教職員の研修の充実に努めてほしい。また、具体的な活用の仕方等について、学校は情報提供に努めてほしい。費用等が発生する場合には、保護者とよく相談し、進めていただきたい。</p>	<p>○教材・教具の活用について ・教職員の研修については、外部講師を活用してのipad研修等を今年度すでに行っている。教職員のスキルも多様であり、今後は習熟度に応じた研修を行うなど研修の充実に努めていきたい。活用の仕方については、産業科は家庭と学校をオンラインでつなぎ、授業を行う準備が整った。今後は普通科において、活用の仕方を検討していきたい。費用については、教材費や実験実習費の範囲内でアプリ等の使用料を捻出し、保護者の負担を抑えるように検討している。授業での活用については、県教委からの指針に基づき、校内のルールを検討していきたい。(本校) ・分校産業科では、パソコンのデスクトップ上のソフトを使用し、双方向通信をしている。今後は実技教科等を含めてどのように学習に取り入れていくのか、また、普通科においてどのように活用をしていくのか、校内で検討をしていきたい。教職員の力量にも差があるので、御助言等を参考に、ipad研修の充実に努めていきたい。家庭におけるWi-Fi環境など、費用面については考えていく必要がある。保護者と相談し、検討をしていきたい。(分校)</p>

○進路支援について

コロナ禍で高3生の進路先や卒業生の離職状況を心配している。世の中の状況は厳しいが、今後も児童生徒に寄り添った進路支援の充実に努めてほしい。我々も可能な限り情報提供をしていきたい。

○働き方改革について

環境の変化に弱い児童生徒も在籍していると思うが、特別支援学校では新型コロナウイルス感染者がゼロということを知って驚いた。導入されるipadの消毒等も含め、先生方の御負担も増えていると思うが、働き方改革にも努めてほしい。

○進路支援について

・様々な行事が中止になる中、進路については現場実習を含めて中止をせずに可能な限り実施をしてきた。卒業した高3生については、全員が行き先が決まった。就職率は3割程度だったが、コロナの影響はあまり受けてはいない。また、卒業生がコロナの影響で離職したという情報はない。就労支援コーディネーターと連携し、生徒や保護者の願いに応じた進路支援に努めるとともに、引き続きアフターフォローの充実に努めたい。(本校)

・分校の就職率は61%であり、少人数の良さを生かして高い就職率を維持している。コロナの影響は特には無いが、今後も丁寧な進路支援を心掛けたい。(分校)

○働き方改革について

・ipadについては、端末を個人の占有にするなど、感染症対策を徹底していきたい。教職員も授業後の清掃等に1時間程度時間を掛けて行っている。負担も増えているが、会議の精選等、働き方改革にも確実に取り組んでいきたい。(本校)